

香川国際アートアワード2026 プレイベント

国際アートシンポジウム

香川から世界へ。アートの新しい循環をつくる

International Art Symposium — Creating a New Cycle of Art, from Kagawa to the World

2027年 開催 第1回
香川国際アートアワード
構想をこの場で初発表

2026年11月8日[日] 13:00-17:00(開場12:30) サンポートホール高松 第1小ホール

1963年、香川からニューヨークへ渡った川島猛。地域から才能を世界へ送り出し、その成果を再び地域へ還す。台湾と国内の美術館・コレクター・ギャラリストを迎え、アートを公共財として育てる仕組みを語り合います。

参加無料・事前申込不要(定員:300名)

[第一部]基調報告 13:00~15:20

①川島猛とアワード構想「越境と帰還」	田口 慶太／片倉 恒
②高松市美術館の歩みとこれから	毛利 直子
③国際共創キュレーションと多文化対話	鍾 一瑄
④社会にひらかれたコレクションと公共財としての価値	田口 美和
⑤国際アート市場における作家のキャリア形成と企業連携	張 凱迪

[第二部]パネルディスカッション 15:40~16:45

地域と世界をつなぐアートの循環——公私連携でつくる創作の土台と仕組み
パネリスト 下記登壇者6名 モデレーター 片倉 恒
アートを「公共財」として共有・維持するには、作家の世界への挑戦と、地域への還元をどう支えるか

16:45-17:00 2027年「第1回 香川国際アートアワード」構想発表・閉会

● 登壇者(出演順)

田口 慶太

公益財団法人川島猛アートファクトリー 学芸員／公益財団法人イサム・ノグチ日本財団 上席学芸員

多摩美術大学卒業。香川県文化会館、東山魁夷せとうち美術館、香川県立ミュージアムで学芸員を務める。イサム・ノグチ展や東山魁夷・千住博関連の企画展など多数を担当。2018年より美術コーディネーターとして活動。



毛利 直子

高松市美術館 学芸員

関西学院大学卒業後、高松市美術館学芸員や同市文化芸術振興課などを歴任。瀬戸内国際芸術祭や条例制定などの文化行政に関わった後、美術館へ復帰し「やなぎみわ展」「鴻池朋子展」など数々の展覧会企画を担当。



鍾 一瑄 Uta Chung

臺中市立美術館 キュレーター

開館展「萬物的邀约」や各種コミッションワークの企画を担当。美術館の公共性や領域横断的な協働を研究テーマとする。過去に北師美術館の学校連携事業や、富邦美術館の開館準備に携わり、公私立美術館の実務経験を持つ。



田口 美和

タグチアートコレクション 共同代表

© Masahiro Heguri

ミスミグループ創業者である父・田口弘が始めた現代アートコレクションの運営実務を担い、世界各地の芸術祭・アートフェアに赴きコレクションの拡充に努めている。サンパウロビエンナーレインターナショナルアドバイザーボードメンバー、森美術館理事等を兼任。



張 凱迪 Ketty Chang

阿波羅畫廊 代表／
中華民國畫廊協會 副理事長

アポロ画廊代表。ウィーン大学修士、ウィーン応用美術大学博士。2011年より同画廊を率い国際アートフェアに参加する一方、台湾芸術大学で教鞭を執る。中華民国画廊協会副理事長やART TAIPEI委員を歴任し、美術振興と教育に携わる。



渡邊 朋也

山口情報芸術センター[YCAM]
アーキビスト／
ドキュメント・コーディネーター

1984年東京生まれ。多摩美術大学卒業。メディアテクノロジーをベースに彫刻や映像、エッセイなどを制作。山口情報芸術センター[YCAM]で記録制作や企画に携わるほか、京都精華大学非常勤講師や共編著の出版も行う。



モデレーター 片倉 恒 瀬戸内アートコレクティブ代表・香川国際アートアワード 芸術委員会ディレクター

お問い合わせ

香川国際アートアワード推進協議会 事務局

TEL:070-6438-4177(平日10:00~17:00)

E-mail:info@kagawa-art-award.jp

主催:香川国際アートアワード推進協議会
助成:置県百年記念香川県文化芸術振興財団

かがわ文化芸術祭2026参加行事



会場のご案内

サンポートホール高松 第1小ホール
(高松シンボルタワー ホール棟 4F)
〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1

アクセス

- ・JR高松駅から徒歩3分
- ・ことでん高松築港駅から徒歩5分
- ・高松港から徒歩2分
- ・高松自動車道高松中央ICから車で約20分
- ・高松空港からリムジンバスでJR高松駅行き約45分

